

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	『日本史A』（東京書籍）						
副教材等	『図説日本史通覧』（帝国書院）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）・歴史という時間軸を感じる。

- ・歴史的事象に「なぜ」「どのように」「いつから」の視点を持つ。
- ・歴史を背景とした日本の諸事情を踏まえ、世界の国々の諸事情と合わせて、現在の日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

- ・歴史的事実を知る。諸史料・資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け、歴史的観点から考察することができる。
- ・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本に生きる者としての自覚と資質を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 史料・資料活用の技能	d: 知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本に生きる者としての責務を果たそうとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート（課題） レポート	定期考査 ワークシート（課題） 授業の取り組み 出席状況	定期考査 ワークシート（課題） 授業の取り組み 出席状況	定期考査 小テスト
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとめ
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

#### 4 学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	歴史と生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的な見方と考え方</li> <li>・地域社会の変化</li> </ul>	○			○	a: 自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b: 設定された主題について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 設定された主題について地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート（課題）等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> <li>・出席状況</li> </ul>
	近代以前の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世国家のできるまで</li> <li>・近世の国家と社会</li> </ul>	○	○	○	○		
	開国と維新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア国際環境の変化と開国</li> </ul>	○	○	○	○		
	近代国家の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治維新と改革政策</li> <li>・対外関係の変革と内乱の終結</li> <li>・憲法の制定と議会の開設</li> <li>・国際環境と条約改正問題</li> <li>・清国との戦い</li> <li>・ロシアとの戦いと戦後の国際関係</li> </ul>	○	○	○	○	a: 日本近代国家の形成と発展について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 世界の諸地域との交流のなかで、諸地域の文化変容などと関連づけながら多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 世界の中での日本近代国家の形成と発展について理解し、その知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート（課題）等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> <li>・出席状況</li> </ul>
			○	○	○	○		
			○	○	○	○		
2 学期	産業化の推進と国民生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義の確立とその特色</li> <li>・国民文化の形成と生活の変化</li> </ul>	○	○	○	○	a: 資本主義の確立と国民文化の形成、第1次世界大戦前後の国内状況・国際関係について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 世界の諸地域との交流のなかで、国内状況と国際関係などを関連づけながら多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 世界の中での日本資本主義の確立と国民文化の形成、第1次世界大戦前後の国内状況・国際関係について理解し、その知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート（課題）等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> <li>・出席状況</li> <li>・授業の取り組み</li> </ul>
	第1次世界大戦と大正デモクラシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次世界大戦と日本の外交</li> <li>・デモクラシーの高まりと政党</li> <li>・国際協調と軍縮の進展</li> <li>・政党政治の時代</li> </ul>	○	○	○	○		
			○	○	○	○		

	第2次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和恐慌</li> <li>・満州事変から国際的孤立へ</li> <li>・軍部の政治的台頭</li> <li>・中国との戦い</li> <li>・第2次世界大戦と世界新秩序</li> <li>・太平洋戦争と日本の敗北</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:第2次世界大戦前後の国内状況・国際関係について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:世界の諸地域との交流のなかで、国内状況と国際関係などを関連づけながら多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:必要な諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:第2次世界大戦前後の国内状況・国際関係について理解し、その知識を身につけている。</p>	
3学期	占領下の日本     日本の自立と経済成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領政策と戦後民主主義の定着</li> <li>・政治・経済の再建</li> <li>・55年体制の成立</li> <li>・高度経済成長の光と影</li> <li>・アジア太平洋と日本</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:占領下での民主主義の定着、政治経済の再建、高度成長、低成長時代について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:世界の諸地域との交流のなかで、国内状況と国際関係などを関連づけながら多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:必要な諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:占領下での民主主義の定着、政治経済の再建、高度成長、低成長時代について国内状況・国際関係と関係づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> <p>今後、世界の中で日本はどのようにしていったら良いか考え始めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート（課題）等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> <li>・出席状況</li> </ul>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能 d:知識・理解 である。

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重点づけを行う観点)について○を付けている。